

◇第3回2008年度遠藤周作研究会・全国大会開催

第3回2008年度遠藤周作研究会・全国大会は、2008年9月27日（土）に、西宮の関西学院大学で開催された。

運営委員会が行われた後、13時より笠井秋生代表の開会の辞、開催校の細川正義関西学院大学副学長の挨拶に続き、以下プログラムのとおり研究発表、総会が行われた。大会進行役は京都外国語大学の長濱拓磨氏と千葉大学の小嶋洋輔氏が担当した。

プログラム

【研究発表】

①遠藤周作「黄色い人」論

近畿大学附属高等学校 田中葵
司会 文芸評論家 今井真理

②遠藤周作『わたしが・棄てた・女』論

白百合女子大学大学院 加藤憲子
司会 星美学園短期大学 武田秀美

③遠藤周作『死海のほとり』論

— 「巡礼」の章における<同伴者イエス>への旅—
杉森高等学校 篠崎まどか
司会 四国学院大学 須波敏子

④遠藤周作『女の一生 二部・サチ子の場合』論

— 「愛」の根源にあるもの—
関西学院大学大学院 古浦修子
司会 昭和女子大学 笛木美佳

【総会】

本研究会の総会は、議長に城西大学の太原正裕氏を選出して開かれた。まず、代表、事務局長および運営委員の改選が行われ、前役員に加え、新たにホームページの運営に携わる太原正裕氏を運営委員として選出し承認された。続いて2007年度事業報告がなされた。内容は次のとおり。

◆ 機関誌『遠藤周作研究』創刊号発刊

念願の機関誌創刊号が発刊された。第二回遠藤周作研究会の発表者4氏に加え、ほか3氏の投稿論文を掲載。詳細な「参考文献目録」も収録。200部作成、1部千円（送料込）で販売も行う。ぜひ大学図書館等で購入いただきたい。

◆ ホームページ開設

2008年1月より開設。太原正裕氏を中心に充実をはかっているので協力を願いたい。

<http://www.shinseinet.sakura.ne.jp/endou/>

次に、事務局より2007年度会計報告が行われ承認された。尚ホームページ費用は次年度より軽減予定。

続いて、代表より2009年度事業計画について示され、承認された。内容は次のとおり。

◆ 機関誌『遠藤周作研究』第2号発行について

2009年9月発行予定、原稿締切は2009年3月末。必ず30枚厳守で完全原稿を提出のこと。（投稿規定は本会報の四ページに掲載）

◆ 機関誌の贈呈先について

国会図書館や遠藤周作文学館をはじめ、12ヶ所へ送付する。

◆ 『遠藤周作事典』の作成について

幅広く奥深い遠藤周作の世界の理解には事典が不可欠である。多くの会員の協力を得て完成を目指せるように笠井代表と事務局で計画を練る。

◆ 「研究会」から「学会」へ

機関誌も発行され、活動内容は学会として遜色なく、全国大会を開催する際などにも利点があることから、今後の更なる発展をめざし、正式に学

会登録し名称を「遠藤周作学会」に変更する。

- ◆ 2009年度の大会は、東京の昭和女子大学で、9月19日（土）に開催することが決定。

最後に久留米信愛女学院短期大学の三木サニア氏の閉会の辞をもって全国大会の日程を終了した。続いて、懇親会が関西学院会館にて盛大に行われた。

■ 事務局より

▼今回の全国大会は、いずれも若手研究者による作品論がなされ、十分に準備された発表に闊達な質疑が行われました。参加者は会員約25名および聴講者約40名で、関西周作クラブの会員や九州・関東からの参加もあり盛会となりました。

▼「遠藤周作研究」第2号の投稿論文を募集します。投稿規定をご覧のうえ、会員の方々の意欲的な投稿が多く寄せられることをお待ちしております。投稿予定の方は、予め12月末日までに投稿論文のタイトルを明記の上、事務局に執筆の申し込みをすることになっているので注意してください。

▼十名を越える会員が執筆に加わった『遠藤周作 挑発する作家』（柘植光彦編、2008年10月）が至文堂より刊行されました。

▼会員の今井真理氏が編集協力した遠藤周作著『人生のおへそ 狐狸庵先生、353の金言集』（2008年9月）が刊行されました。

▼ 長崎市遠藤周作文学館 池田静香研究員から

*企画展「遠藤周作とフランス」が開催中です。

一昨年発見された留学時代の書簡も展示しています。

* 資料目録がまもなく完成予定です。

昨年度より、遠藤周作の旧蔵書中、書き込みのある部分のみを画像にて閲覧公開していますが、ようやく資料の裏づけも取れ、まもなく目録が完成予定です。最新情報はHPをご覧ください。

〒851-2327 長崎県長崎市東出津町7番地

電話 0959-37-6011 <http://www1.city.nagasaki.nagasaki.jp/endou/>

第三回遠藤周作研究会・全国大会は、研究会としては最後の大会となりました。来年9月は学会として最初の大会が東京で開かれます。今回は外国文学からの研究発表がなかったのが残念でしたが、次回はそうした幅広い専門分野からの発表も加わり、多くの会員の方々と充実した会が催されることを願っています。発表の申込みは来年5月末日締切りです。3月に改めて募集のお知らせをいたします。

『遠藤周作研究』 投稿規定

一 遠藤周作研究会の機関誌として、広く会員の意欲的な投稿を歓迎します。投稿論文が掲載予定数を上回った場合は遠藤周作研究会で発表されたものの掲載を優先させていただきます。

二 投稿論文は原則として縦書きで、字数は四〇〇字詰原稿用紙に換算して三〇枚以内（注も含む）とします。

三 論文は完全原稿で二部提出してください（フロッピーを添付のこと）。執筆者の校正は初校のみです。

四 論文の審査などは編集委員会が行いますが、加筆・訂正などを依頼する場合があります。

五 投稿論文の執筆者には印刷費などの費用として一万円（二〇部買い取り）の二負担をお願いします。

六 投稿論文の締切りは、毎年三月三十一日（必着）とします。ただし、前年の十二月末日までに投稿論文のタイトルを明記の上、事務局に執筆の申し込みをしてください。

七 投稿先は △遠藤周作研究会事務局V。

遠藤周作研究会 事務局

〒700-8516 岡山市伊福町2-16-9

ノートルダム清心女子大学 山根道公研究室

TEL: 086 (252) 3129

E-mail: michi@post.ndsu.ac.jp